

第2号議案 平成25年度事業計画について

平成25年度事業計画（案）

1 勉強会の開催

地域課題等に気付き、企画、運営力アップにつなげるため、クラブ役員・メンバーが企画運営する勉強会を開催する。

- ア 開催回数 年間12回程度
(福井坂井地区4回、奥越地区2回、丹南地区3回、嶺南地区3回を想定)
- イ 参加人数 1回当たり30人程度
- ウ 開催内容 開催例として、以下のとおり
 - ・スキルアップ 「企画・プレゼン技術を学ぶ」、「チラシ作成のための写真撮影術」等
 - ・職場体験 「伝統工芸品の製作見学と体験」、「若手後継者のいる酒蔵の見学」等
「若チャレピクニック」の実施（開催候補地：鯖江、小浜など）
 - ・食・カフェ 「若手が経営する料理店等で、福井の食・食材を学ぶ」等

2 講演会と交流会の開催

失敗を経験しながらチャレンジした若き成功者など、国内外の第一線で活躍する若者等の講演会と若者交流会を開催する。

- ア 開催時期 25年12月ごろ（年1回）
- イ 参加人数 200人程度
- ウ 開催内容 講演と若者の交流会

3 活動発表会（若者チャレンジクラブ文化祭）の開催

クラブメンバーで実行委員会を組織し、チャレンジクラブの活動実績発表、県内のクラブメンバーの所属する若者グループの活動発表、イベントなどを企画し、実施する。

- ア 開催時期 25年7～9月中（年1回開催）
- イ 開催場所 福井駅周辺
- ウ 参加人数 200人程度
- エ 開催内容 チャレンジクラブの活動実績発表、クラブメンバーが所属する若者グループの活動発表、イベント実施（まち歩きなど）

4 県外の若者グループとの交流の推進

ふるさと知事ネットワーク参加県の若者グループと交流を推進し、活動を進める上での課題とその対応について意見交換をすることなどにより、ネットワークを広げるとともに、今後の活動の参考とする。

(1) 県外の若者グループの受け入れ

山形県などの若者グループを受け入れ、クラブメンバーとの意見交換会の開催、共同イベントの実施、まちづくりの事例の紹介などを実施
時期：8月（予定）

(2) 県外の若者グループとの交流

クラブメンバーが、三重県などに出向き、若者グループとの意見交換会の開催、現地の先進まちづくり視察などを実施
時期：8月（予定）

5 地域課題解決ワークショップの開催

「まちをよくしたい」という思いを持つメンバー（30名程度）を募集。5グループ程度に分かれて、現地調査を含むワークショップを実施し、課題解決に向けた企画を立案する。

- ア 講演時期 25年9月～26年2月（予定）
- イ 開催回数 4回 うち合宿を2回

- ウ 開催内容 第1回ワークショップ（自己紹介、グループ分け、意見交換）
第2回ワークショップ（現地調査）
第3回ワークショップ（企画案検討）
第4回ワークショップ（企画書作成）・公開プレゼン大会

また、地域課題解決ワークショップに参加した若者が、このワークショップにより作成した企画書に基づき実際に活動を開始する場合には、本人の求めに応じて、クラブ役員が指導助言を行う。

6 「ふくいの応援隊」の活動

25年9月に、本県において、「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ」第4回定例会合に開催されることに関連し、クラブメンバーが地区の祭りや伝統行事の継承、親子の農業体験、過疎集落の活性化などを応援することにより、ふくいの食や農業・農村などの理解を促進し、ふくいの活性化につなげる。

- ・福井坂井地区 担い手不足に悩む民俗芸能（じじぐれ祭）の応援（25年5月5日）
- ・奥越地区 里山への理解と活用
- ・丹南地区 若手農業者の応援（若手農家ミーティング、農産物のマルシェの開催）
- ・嶺南地区 里山への理解と今後の活用

7 情報交換、提供、広報

- (1) ホームページ 「ふくい若者チャレンジクラブ」の運用
- (2) フェイスブック「ふくい若者チャレンジクラブ」の運用
- (3) 「ふくい若者チャレンジクラブ」メールマガジンの発行
- (4) クラブのPR活動、会員勧誘活動
- (5) パブリシティの活用